

## 設営バリエーション

前を開けず横から入ることでプライバシーを守ります。



前面巻き上げが可能で開放感もそのままに使用可能です。



ゴムループについているフックで簡単に半分開ける事が可能です。



※ファスナー等で完全に連結するものではありません。  
強風時等風や雨が入り込む場合がございます。

### 雨天時のフロントフラップに関して

フロントフラップを上げた状態で雨が降った場合、雨がフロントフラップの上に溜まり、テントの破損や雨漏りの可能性がございます。  
必ず水が流れるようフロントフラップを張り上げてポールを片方下げたり、フロントフラップ中央から張綱を張って水を流すなど対応してください。

使用前に必ず取扱説明書を読み、  
一度組み立て付属品の不足や破損がないか確認してください。

本書は製品を安全に使用するための禁止事項と設営方法を記載しております。  
使用前に必ずお読み下さい。また必ず製品と共に保管して下さい。

### 警告

- ベンチレーターや出入り口が完全に閉まった状態で使用すると酸欠による事故の可能性があります。必ず定期的に換気をするか、ベンチレーターを開けた状態で使用して下さい。
- テント内で火気は絶対に使用しないで下さい。
- テント内部の照明は電池式のランタンを使用してください。ガスやガソリンのランタンは火災の原因になります。
- 台風、暴風雨の際は絶対に使用しないで下さい。
- 使用中は天候の変化に注意し突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は使用を中止し速やかに撤収、安全な場所へ退避して下さい。

### 注意

- 快適なキャンプの為に製品の破損や付属品の不足が無いことを確認してから使用して下さい。
- 必ず周囲の安全を確認し広い場所で組み立て使用して下さい。  
特にお子様がいる場合はフレームがぶつかったりしないよう十分にご注意下さい。
- 設営及び撤収の際は手袋等を着用し、安全に作業をして下さい。
- 説明書に従い全ての張り綱を確実に固定した状態でご使用下さい。
- 焚き火のそばなど火が当たる可能性のある場所、火の粉がかかる恐れのある場所で使用しないで下さい。
- テント内と外気の温度差、使用人数が多い場合は結露が生じテント内に水滴が付く恐れがあります。
- 製品に使用している素材は使用頻度に関わらず湿度、日光、温度などの環境要因により徐々に劣化します。
- お客様による製品の改造、誤った使用方法による事故や故障につきましては一切の対応をお断り致します。
- 常設用ではありません。直射日光の常時当たる環境でご使用となる場合は褪色や生地劣化が進み短期間で製品寿命となることがあります。
- 砂地や河原など付属のペグで固定が不十分な場合は、別途設営場所に合わせた市販のペグをご用意下さい。

### メンテナンス、保管上の注意

- 使用時は汚れを良く落とし、乾燥させてから収納、保管して下さい。
- 濡れたままや汚れたまま収納保管すると、カビや臭いの発生、色移り、生地劣化を早めます。
- ポールは中まで乾燥させてください。
- 海沿いで使用した場合は塩分を水で洗い流し乾燥させてください。
- 高温多湿の場所に保管すると生地劣化をはやめます。風通しの良い直射日光が当たらない場所に保管してください。
- 洗濯機で洗わないで下さい。
- 製製品の破損、故障についてはご購入頂いた販売店までご相談下さい。

発売元

株式会社カンセキ

〒321-0158 栃木県宇都宮市西川田本町3-1-1  
http://www.tent-mark.com/



炎幕の前幕・大炎幕の前幕

EN-MAKU FRONT WALL  
DAI EN-MAKU FRONT WALL

TENT

共通取扱説明書



### SPEC

- 品番 / TM-200126
- 品名 / 炎幕の前幕
- 素材 / 前幕本体:コットン100%(撥水加工)  
マッドスカート(フロント):コットン100%(撥水加工)  
マッドスカート(サイド):コットン混紡生地(TC)ポリエステル65% コットン35%(撥水加工)  
収納ケース:ポリエステルオックス210D(撥水加工)
- 収納サイズ / (約)520 × 280(直径)mm
- 組立サイズ / (約)2,250 × 1,100 × 1,250(高)mm
- 重量 / 総重量:(約)2.5kg  
本体:(約)2.06kg  
収納ケース:(約)50g
- 同梱物 / ペグ×5、収納ケース

- 品番 / TM-200127
- 品名 / 大炎幕の前幕
- 素材 / 前幕本体:コットン100%(撥水加工)  
マッドスカート(フロント):コットン100%(撥水加工)  
マッドスカート(サイド):コットン混紡生地(TC)ポリエステル65% コットン35%(撥水加工)  
収納ケース:ポリエステルオックス210D(撥水加工)
- 収納サイズ / (約)520 × 280(直径)mm
- 組立サイズ / (約)2,550 × 1,250 × 1,460(高)mm
- 重量 / 総重量:(約)2.9kg  
本体:(約)2.41kg  
収納ケース:(約)55g
- 同梱物 / ペグ×5、収納ケース



## スカート部分を張り上げて使う場合

炎幕DX EVO、大炎幕、炎幕DX ver.2、大炎幕FCはこちらの方法で設営してください。

### 1 テント本体を設営します

張り出しポールは垂直にして設営してください。



張り上げ部分は「スカート角にあるループ」にポールを通して設営してください。  
前室が最大限広くご利用いただけます。

### 2 前幕本体のグロメットに、張り出しポールを通します

テープの「グロメット外側」を跳ね上げ用ポールに通します。  
ポールには下記の順番で通してください。  
前幕グロメット⇒テント本体スカート部⇒張綱  
※グロメットは2か所です。今回は外側のグロメットを使用します。



## セット内容

- |                               |                                      |
|-------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 本体×1 | <input type="checkbox"/> 収納ケース×1     |
| <input type="checkbox"/> ペグ×5 | <input type="checkbox"/> 取扱説明書(本書)×1 |

### 3 テント内側に入り、黒テープをセットします

テント内側に入り、前幕本体にある長い黒テープを最大限に伸ばします。  
一度ポールを内側から外し、黒テープの先をポールに通し、  
テント本体にセットしなおしてください。  
その後テント外側に周り、張綱をポールに入れなおします。



※セットしたテープは引きすぎないでください。全体のバランスが崩れます。

### 4 テント内側に入り、各ゴムを取り付けます

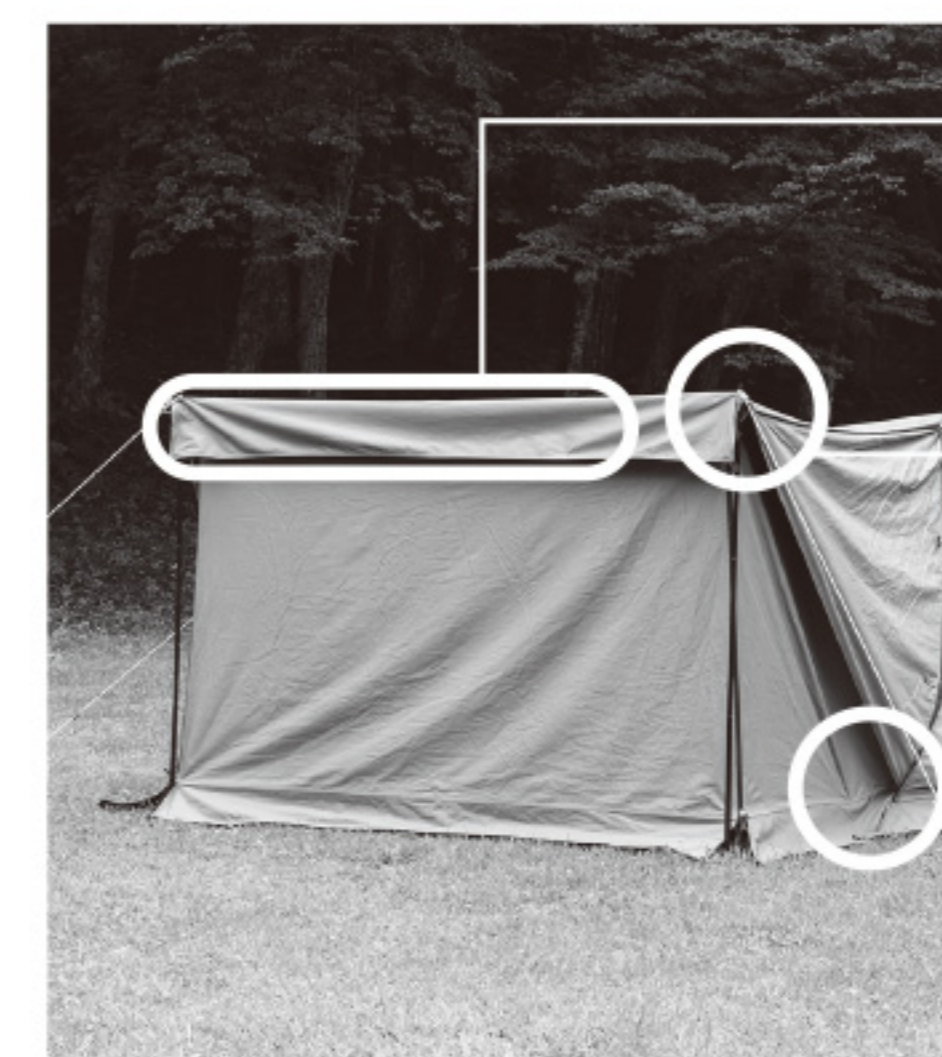


### 5 本体入り口部分をペグダウンすれば完成です

入り口の開放方法にあわせてゴムループを選び、ペグダウンしてください。



## スカート部分を垂れ下げて設営する場合



この部分を垂れ下げる場合  
初代モデル「炎幕DX」は  
こちらの方法で設営します。

角の黒テープにグロメットが  
2つ付いていますが、内側を  
使用します。

この部分はテント本体のペグ  
を共有できます。

テント内側ゴムの取り付け箇所は下記となります



テント本体のベグと共有できます。

使用しません。 新規で  
ベグダウン  
してください。